

社会資本整備審議会道路分科会 第8回東北地方小委員会
【議事概要】

1. 日 時

平成25年4月18日（木）13:00～14:30

2. 場 所

東北地方整備局 二日町庁舎 2階 大会議室

3. 出席者

〈委 員〉

大滝精一委員長、大泉太由子委員、奥村誠委員、加賀谷聡一委員、坂本敏昭委員、
福迫昌之委員

4. 議 事

1) 平成25年度新規事業採択維持評価

- ・直轄事業の新規事業候補箇所の選定の考え方について
- ・一般国道115号（東北中央自動車道）相馬福島道路（霊山～福島）
- ・一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）遊佐象潟道路
- ・一般国道103号 奥入瀬（青楓山）バイパス

5. 議事概要

【一般国道115号（東北中央自動車道）相馬福島道路（霊山～福島）について】

- ・太平洋沿岸部と内陸部を結ぶことで物流や人の交流などが活発になり東日本大震災からの復興に大きく貢献する路線。
- ・本路線は故郷に帰る道路、除染に携わる方々、特に避難区域が再編され、日中のみ自宅に帰れる方にとってはとても有意義な路線であると思う。
- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）遊佐象潟道路について】

- ・日本海側において新潟～山形～秋田などの繋がりがとても大切。また、太平洋側との繋がりは特に重要で、相馬福島道路などとも連携し日本海側と太平洋側を結ぶ道路整備が必要。
- ・港湾間を結ぶことはとても重要で、広域的な産業・経済振興等にも貢献する路線。
- ・観光の面で、首都圏からのドライブ等を考慮した時、休憩施設についてはどのようにお考えか。
- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道103号 奥入瀬（青樺山）バイパスについて】

- ・ 奥入瀬溪流からバイパスへ交通が転換されることで、防災や地域観光及び環境保全にも寄与する重要な事業。
- ・ バイパス化により環境に対する負荷が軽減出来るようだが、環境のメリットは便益に計上されないのか。環境面も考慮すると、費用対効果はもっと上がって良いと思われる。
- ・ 新規事業化については妥当である。